

ZEPHYROS

ゼフェロス No.17

The National Museum of Western Art, Tokyo 国立西洋美術館ニュース

ISSN1342-8071



クロード・モネ
《睡蓮》1916年 松方コレクション

松方コレクションについて

少しばかり気の早い話かもしれませんが、国立西洋美術館は2009年には開館50周年を迎えることになります。よく知られているように、1959年に美術館が開館したときにル・コルビュジエの手になる現在の本館に飾られたのは、フランスから寄贈・返還された松方コレクションでした。この開館展を機に日本中で松方コレクションのフランス近代美術の大ブームが起きたことは、すでに戦後の混乱期を脱した日本の世相を映し出す、歴史的なエピソードのひとつとなっています。

ここで、松方コレクションについて簡単におさらいをしておきましょう。このコレクションは株式会社川崎造船所の社長であった松方幸次郎氏（1865－1950）が、1916年以降に蒐集した、ヨーロッパ美術の作品を主体としてい

松方コレクションについて

ます。ここには浮世絵の一括した蒐集も含まれていましたが(現在東京国立博物館所蔵)、本来松方は、日本の人々が西洋の美術作品の実際に触れられるようにと作品を集めていたのです。そして、やがては東京の麻布台に西洋美術を総合的に展示するための美術館建設までも視野に入れていま



旧松方コレクション
タピスリー連作〈ブシュケの物語〉より
《姉たちに贈り物をするブシュケ》17世紀後半
社団法人 糖業協会 寄贈

した。しかし残念ながら、昭和初期の世界的な金融恐慌の結果、川崎造船所は苦境に立たされ、松方の蒐集品も数奇な運命を辿ることとなります。ロンドンの倉庫に置かれていた作品群は原因不明の火災で焼失し、すでに国内に送られていた作品の多くは銀行の担保物権となり、競売に掛けられたりして散逸してしまいました。さらに、第二次世界大戦が勃発、フランスに保管されていた作品群は敵性財産として接収されます。戦後になり、サンフランシスコ講和条約を経て、フランスに残されていたコレクションは東京に「フランス美術館」を建設するという条件で、フランス政府から「寄贈」(日本側は現在に至るまで「寄贈・返還」と称していますが、正式にはあくまで「寄贈」でした)されました。これが、国立西洋美術館発足当時の松方コレクションの姿です。

以後、購入・寄贈などのさまざまな機会を通じて、蒐集品は飛躍的に増加していますが、出発点である370点の松方コレクションは、今も昔も西洋美術館の中核と言っても過言ではない、豊富な質と量具备了優れた蒐集です。松方がモネから直接購入したとされる「睡蓮」をはじめとする作品群やロダンのブロンズの数々など、当時の世界基準に照らしてみても見事という他はない、第一級の近代フランス美術コレクションとなっています。

近年、かつてこのコレクションに属していた絵画・彫刻や家具、タピスリーなどが続々と姿を現すようになりました。今年の春には幸運にも当館の所蔵となったそれらの作品のうち、6点



松方幸次郎 (1865-1950)

のタピスリーを展覧会という形で公開することが出来ましたが、松方コレクションの全貌は未だに杳として分からないところがあります。これからまた、知られざる作品や新しい事実により再照明が当てられるのは間違いないでしょう。

(主任研究官 高橋明也)

ル・コルビュジエと国立西洋美術館

the national museum of western art, tokyo

皆さんもご存知の通り、当館の本館部分は20世紀を代表する建築家ル・コルビュジエ（1887-1965年）によって設計されました。彼はコンクリートという新たな材料に見あう建築を目指して、ピロティ、屋上庭園、連続水平窓といった新しい構造を大胆に導入して建築の概念を一新させました。こうした構造はいまや現代建築に当たり前のものとなっており、それ一つをとって見ても、彼の与えた影響の大きさが知られます。

コルビュジエは当館の設計にあたって、斬新な理念を実現させようとしていました。彼は、美術館とは過去の作品を保存・展示するのみでなく、諸芸術が交流する場でなければならないと考えたのです。それゆえ当初の建築案では、現在の本館の他に、特別展示館、野外劇場、実験劇場を配した、一つの文化センターを構想していました。この計画がもしも実現していたら、現在の公園管理事務所や東京文化会館の敷地を含んだ大々的な施設になったはずですが、残念ながら資金不足のためにそれは叶いませんでした。

今日の当館の姿はコルビュジエの意図した姿とは大きく異なっていますし、彼が構想したような壮大な理念を体現している訳でもありません。ただ、当館の開館（1959年）を契機として、その2年後には東京文化会館が竣工するなど、上野の森は着々と文化センターとしての姿を整えていったのです。形が変わりこそすれ、コルビュジエの理念はやはり受け継がれたと言えるのではないのでしょうか。

（研究員 渡辺晋輔）

開館当時(S.34)の国立西洋美術館



’03夏の教育普及プログラムを振り返って

the national museum of western art, tokyo

当館では、一年を通じて子どもから大人までを対象に、様々な教育普及プログラムを実施しています。今年の夏は、「ドイツ・ロマン主義の風景素描展」(6/24



「シュノル父子とメンデルスゾーン」リハーサル風景より

～8/24) でレクチャー・コンサートを行いました。このレクチャー・コンサートは、上野公園にある東京芸術大学と協力して、毎年一回いづれかの展覧会に合わせて企画しています。今回の「シュノル父子とメンデルスゾーン」は、自らも多くのスケッチを描いたドイツの有名な作曲家メンデルスゾーンの曲を中心に、本展でとりあげたシュノルやその他の素描家たちとメンデルスゾーンの交流を紹介するレクチャーを含んだ演奏会となりました。

また、同時期に、絵画の形態をテーマに当館の所蔵作品を中心に企画された小展覧会「Fun with Collection (ファン・ウィズ・コレクション) ココロのマド―絵のかたち」(7/1～8/31)でも、テーマに関連して様々なプログラムが実施されました。東京国立博物館で日本の絵を見ながら、東西の絵の形やその見方の違いを体験する「体験 東西の絵のかたち」や、横長の絵に描かれた時間表現に注目して、複数の時間が表現された写真作品を作る「幻視写真」(講師:伊藤義彦)、また、矩形の絵画が一般的となった理由を歴史的背景から考えるレクチャー(講師:高山宏)など複数のプログラムが行われました。

こうしたプログラムは、ホームページ、展覧会チラシ、本誌ゼフュロスを通じて随時案内しています。さらにじっくり、作品やテーマを楽しみたいと思われるときは、どうぞご参加ください。

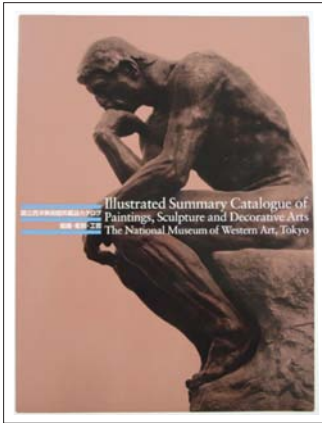
(主任研究官 寺島洋子)



「ココロのマド―絵のかたち」に関連したプログラム「幻視写真」より

西洋美術館所蔵品の全貌が1冊に

the national museum of western art, tokyo



国立西洋美術館所蔵品カタログ
絵画・彫刻・工芸 1,500円(税込)

このたび、国立西洋美術館が所蔵する全絵画、彫刻、そして工芸（平成15年3月末日現在）に関するデータとモノクロ画像を含めた目録の最新刊が完成しました。国立西洋美術館では、これまで『国立西洋美術館総目録』（昭和36年）、『国立西洋美術館総目録 絵画篇』（昭和54年）、『国立西洋美術館

新収蔵絵画目録 昭和54年-平成元年』（平成2年）、そして今回の所蔵作品カタログの前身である『国立西洋美術館所蔵作品カタログ 絵画・彫刻』（平成9年）を刊行してきました。

今回は、平成9年版のカタログに、それ以後に収蔵した絵画・彫刻作品に加え、全ての工芸作品を含めたことにより、版画・素描を除いた収蔵品全てを紹介できるようになりました。この作品カタログは、一般のみなさんに親しみをもってみていただくことを目的とした作品解説つきの「名作選」などとは異なり、作品のデータのみを掲載し、参考までに白黒の図版を載せた、研究用カタログです。しかし、そこには西洋美術館の所蔵品の全貌が示されており、展示室で目にするできない作品の存在を知ることができます。

個々の作品のデータを見ると、開館当初の松方コレクションのフランス絵画・彫刻を中心とした所蔵品に加え、当館学芸課の地道な努力により蒐集されたオールドマスターの作品や、国内に散逸していた旧松方コレクションの作品、また様々な方々からの寄贈作品など、当美術館の活動の歴史を、それぞれの作品を通して知ることができます。

展示室だけではなく、大切な文化財を安全に保管する収蔵庫も、美術館の重要な部分であることを理解していただけると幸いです。

（研究員 高梨光正）

ミュージアムショップ
9:30~17:00(金曜日~20:00)



◎観覧券なしでご利用いただけます。

展示カレンダー [企画展示/常設展示] 2003年11月～2004年4月

常設展示(本館・新館)

ロダンの彫刻と、中世末期から18世紀末頃までのオールド・マスターの絵画を本館で展示しています。新館では、モネ、ルノワールなどのフランス近代絵画を中心に19世紀半ばから20世紀の絵画を展示しています。

■ 休館日
 ≡ 土・祝日

1 NOVEMBER

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

 **レンブラントとレンブラント派 聖書・神話・物語**
 (企画展示室)9月13日(土)～12月14日(日)

ジャック・カロの版画-17世紀フランス、イタリアの人々、宮廷、戦争-
 (新館2F版画素描室)9月13日(土)～12月14日(日)

2 DECEMBER

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

レンブラントとレンブラント派
 聖書・神話・物語 最終日12月14日(日)

ジャック・カロの版画
 最終日12月14日(日)



年末年始
 休館
 12月28日(日)
 ?
 翌年
 1月1日(木)

1 JANUARY

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

年末年始休館1月1日(木)
 1月2日(金)～開館 常設展示



2 FEBRUARY

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

3 MARCH

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

ヴァチカン美術館所蔵古代ローマ彫刻展 生きた証—古代ローマ人と肖像
 (企画展示室)3月2日(火)～5月30日(日)

4 APRIL

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

ヴァチカン美術館所蔵古代ローマ彫刻展 生きた証—古代ローマ人と肖像
 (企画展示室)3月2日(火)～5月30日(日)

※展覧会名、会期、内容等は変更されることがあります。

国立西洋美術館

- 所在地…〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間…9:30～17:00、金曜日～20:00
 (入館は閉館の30分前まで)
- 休館日…月曜日(ただし、月曜日が祝日あるいは振替休日となる場合は翌火曜日)年末年始(12月28日～翌年1月1日)
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日と文化の日
- お問い合わせ…ハローダイヤル:03-5777-8600
<http://www.nmwa.go.jp/>

※誌名について…「ZEPHYROS」(ゼフェロス)はギリシャ神話の神々のひとり、西風を司る神様の名前です。西欧では暖かさや色ざまざまの花々を運ぶ春の風をさします。

ZEPHYROS

ZEPHYROS 第17号

編集・発行 国立西洋美術館/平成15年11月20日(年4回発行)
 協力(財) 西洋美術振興財団
 印刷(株) アイネット

※1月2日(金)の開館時間は9:30～17:00までとなります。

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています